

# 東浦町公共施設再配置計画（案）

## 1 趣旨

東浦町公共施設再配置計画は、2024年度から2058年度の35年間を計画期間とし、公共施設ごとの現状と課題を整理したうえで、各施設の更新・複合化・集約化等の方向性を含む公共施設再編の基本的な方針を定め、各施設の方向性を検討し、上位計画・関連計画との整合、災害ハザードエリア、候補地の有無等を踏まえた公共施設の再編プラン及び、再編プランを進めるためのロードマップ案を作成しました。

「東浦町公共施設再配置計画」を策定するにあたり、広く皆様からの意見を募集します。

## 2 目的及び背景

### 〈目的〉

本計画は、公共施設の一斉更新や財政面等の課題に対応したうえで、将来にわたって持続可能な公共施設の実現を目指すため、公共施設ごとの現状や課題の整理、今後のあり方等を検討し、公共施設再編の方針を示すための計画です。

### 〈背景〉

東浦町が所有する公共施設の多くは、1970年代から1980年代の高度経済成長期に集中的に建設されており、建設後40年から50年以上経過する公共施設もあります。これらの公共施設は、今後一斉に更新時期を迎えることになり、多額の費用が必要になることが見込まれます。

さらに、人口減少や少子高齢化による人口構造の変化等、社会環境が変化する中、財政状況も今後一層厳しくなる見通しであり、現在の公共施設を今後、今の姿のまま維持することは非常に困難な状況下です。

## 3 実施機関の考え方

「拠点形成によるすべての町民サービスの向上」、「水害等の災害への対応能力の向上」、「東浦町の将来人口を見据えた公共施設規模の実現」の3つを基本方針とし、各施設の方向性を定め、将来にわたって持続可能な公共施設の実現を目指す計画です。